

吉川の風

東広島市立吉川小学校

令和7年8月27日

No.11 校長 沖 秀治

夏の思い出を胸に 次の一步へ

忘れもの

高田 敏子

入道雲にのって

夏休みはいつてしまった

「サヨナラ」のかわりに

素晴らしい夕立をふりまいて

けさ 空はまっさお

木々の葉の一枚一枚が

あたらしい光とあいさつかわしている

だがキミ！ 夏休みよ

もう一度 もどってこないかな

忘れものをとりにさ

迷子のセミ

さびしそうな麦わら帽子

それから ぼくの耳に

くっついて離れない波の音



夏休みが終わり、吉川小学校の教室に子ども達の元気な声が帰ってきました。前期後半のスタートです。とはいうものの、これまでの生活リズムから学校の生活リズムに戻すのは大人でも大変。「もうちょっと夏休みがあつたらなあ…」というのが本音かもしれませんね。でも、過ぎ去った日々を懐かしがっても残念ながら戻ってはきませんので、大人も子どもも気分を入れ替えて前へ進んでいきたいと思います。(といいつつ、未練たらたらを載せてしまいました(^_^;))

早く学校の生活リズムに戻るよう、ご家庭での声かけをよろしくお願いします。

太鼓とエコの響きフェス ～in 吉川夏祭り～

ちょっと前の話になりますが、8月2日に第42回吉川夏祭りが開催され、高学年の子ども達が吉川子供太鼓を披露し、お祭りを盛り上げてくれました。

また、今年は初の試みとして、6年生の子ども達が、総合的な学習の時間に取り組んでいるアップサイクルで作成した作品の展示販売も行いました。丁度祭りを訪れていた高垣市長に、これまでの取組をお話しする機会もいただき、市長から子ども達の活動を高く評価していただきました。今後の励みになると思います。



～夏休みの宿題 結果発表！！～

夏休みの宿題「校長先生よりも黒くなる ～足編～」(任意)の結果です。

**勝ち 6年 島原さん 6年 景山さん 4年 小川さん 3年 田村さん
3年 田島さん 2年 山根さん**

来年はどこで勝負しようかなあ(^_^)；

～9月に誕生日を迎える児童を紹介します～

今回は、次の項目でインタビューをしました。

- ① 夏休みの思い出 ② 好きなお肉 ③ ○オになってがんばりたいこと

3年生 清水 翔太郎さん

- ① 原爆資料館に行って、原爆にあった人のものや絵を見たことです。原爆はおそろしいなと思いました。
- ② 鶏肉 おじいちゃんが燻製を作ってくれるから。
- ③ 習い事(公文)をがんばって力をつけたいです。

3年生 光川 凜さん

- ① いとこと山口にお墓参りに行って、旅館に泊まったことです。いろいろな料理が食べられました。
- ② 鶏肉 鳥皮がおいしいからです。
- ③ 算数が苦手だから、がんばって勉強して得意になりたいです。

5年生 信永 龍星さん

- ① 仁さんと鈴さんと一緒に、初めてサンフレッチェの試合を見に行ったこと。ガンバ大阪として、サンフレッチェが勝ちました！
- ② 鶏肉(もも肉) 柔らかくておいしいから
- ③ 算数の勉強をがんばって、計算が早くなりたいです。

